

やんばる世界遺産だより

第 13 号

令和 7 年 3 月発行
沖縄島北部部会
事務局

子どもたちの描いたやんばるが空を舞う！

世界自然遺産の次世代への継承に向け、地域の児童生徒の皆さんが身近にある貴重な自然について関心を高め、理解を深める機会となることを願い、『やんばる・西表島 図画コンクール』（主催：沖縄県）を開催しています。

令和 6 年度は、やんばる地域および八重山地域に住む小中学生を対象に募集し、やんばる地域では、応募作品 137 点の中から県知事賞 1 点と環境部長賞 5 点が選ばれました。県知事賞の受賞作品は航空機にラッピングされ空を舞い、世界自然遺産となったやんばる・西表島を PR します。



図画コンクールの表彰式の様子（2月3日開催）

県知事賞



屋嘉比 佐和さん（本部中学校 3 年）
「ていだぬあがるまでいん」

環境部長賞



榎田 琉太郎さん（大宜味中学校 1 年）高澤 和さん（大宜味中学校 2 年）
「夜空とヤンバルクイナ」



「ノグチゲラとデイゴ」



山本 奈穂さん（屋部小学校 2 年）
「水あそびつめたかった」



宮城 璃子さん（久辺小学校 3 年）
「ヤンバルクイナファミリー」



屋嘉比 康虎さん（瀬底小学校 6 年）
「翼をひろげて」

世界自然遺産地域活動支援事業補助金について

沖縄県自然保護課では、県内の世界自然遺産地域の豊かな自然を守りながら、魅力ある観光地づくりを推進するため、やんばる3村（国頭村、大宜味村、東村）および西表島において、自然環境や景観の保全に資する活動を行う法人等を支援する補助事業「世界自然遺産地域活動支援事業」を令和6年度より開始しました。

今年度は4件の活動が採択され、ガイドのスキルアップ講習会、ロードキル対策のための草刈り、ビーチクリーン、シンポジウムなどの地域活動が実施されました。来年度も引き続き活動を募集します。多くのご応募をお待ちしています。



世界自然遺産推進共同企業体シンポジウムの様子

やんばる3村のエコツーリズムに関する取組について

「エコツーリズム」とは、地域の自然環境や歴史・文化といった地域固有の魅力を来訪者に伝えることで、その価値や大切さが理解され、地域資源の保全や地域課題の解決につなげていくことを目指すものです。

ここでは、国頭村、大宜味村、東村におけるエコツーリズムに関する取組を紹介します。

国頭村では、今年度よりエコツーリズム推進全体構想の策定に取り組んでいます。豊かな自然環境を守りながら、自然資源を生かした観光により地域経済の活性化を図る、持続可能な観光の仕組み作りを進めています。

今年度は作業部会を3回開催し、関係行政機関や地元の関係団体・事業者、学識経験者と一緒に、国頭村におけるエコツーリズムの考え方や世界自然遺産の核心地域にふさわしい利用のあり方、質の高い自然体験の提供を検討しました。

東村では、東村の優れた自然観光資源を後世へ継承しながらエコツーリズムの先進地として取組を推進し、保全と利用の調和のとれた地域振興を図るため「東村エコツーリズム推進全体構想」を作成しています。今年度はワーキング部会を3回、協議会を2回開催しました。

また、令和5年に施行された東村公認ガイド利用推進条例に基づき、今年度より東村公認ガイドの運用が開始されました。令和6年度現在、登録エコツアー事業者が9事業者、公認ガイドが20名となりました。

大宜味村では、観光を単なる経済活動ではなく「交流」と「対話」の場と捉え、村民だけでなく、村にゆかりのある人や村外の大宜味ファンも巻き込みながら、地域振興につなげる取組を進めています。その一環として、「クガニーんちゅ(黄金人)※」の人材育成プログラムを試験的に実施しています。

今年度は、村の魅力を正しく伝える人材となる「おおぎみ案内人」育成の取組の一環として、大宜味中学校の1年生を対象に、総合的な学習の時間の中で観光教育を実施しました。来訪者を迎え入れるおもてなしの心や地域への理解を深めることを目的に、全22回の授業を実施しました。また、「おおぎみ学」を学ぶテキストの作成やアクションプランの策定を進めています。

観光や地域活動を通じて、村に関わるすべての人が主体的に村の価値を高め、次世代へとつないでいくことを目指しています。

※「クガニーんちゅ(黄金人)」とは・・・特別なスキルを有する人だけでなく、大宜味のことを学び、理解を深め、愛着と誇りを持ち、その魅力を多くの人に伝え、もてなしたいという「I LOVE おおぎみ」の気持ちを持つすべての人を指します。

沖縄島北部部会を開催しました

令和6年度の沖縄島北部部会を8月29日(第1回)及び2月6日(第2回)に開催しました。

世界自然遺産を管理していくための包括的管理計画およびモニタリング計画の改定案や、世界自然遺産の管理として行政機関等が実施した取組について報告がありました。具体的には、国立公園における滞在体験の魅力向上のための先端モデル事業、ロードキル対策、密猟対策や外来種対策、3村におけるエコツーリズムに関する取組状況などについて報告があり、参加者からは地元との繋がりを意識した事業実施を望む意見が目立ちました。



第2回沖縄島北部部会の様子

各種イベントの様子

やんばるの魅力を発信しました

11月16日、17日に、海洋博公園・沖縄美ら海水族館にて、世界自然遺産およびやんばる3村の魅力を発信することを目的に「世界自然遺産フェア」が開催されました。

『やんばる3村の特産品の物産展』、『自然・生き物たちの図画コンクールにおいて本島北部の小中学生が描いた作品展示(137作品)』、『やんばるの星空パネル展』などが実施され、多くの方にご参加いただきました。



イベント当日の様子

3村同時にビーチクリーンを行っています



ビーチクリーンイベントの様子

やんばるの森が世界自然遺産となり、3年が経ちました。森だけでなく、海もきれいにすべく、やんばる3村世界自然遺産協議会では、10月6日に「やんばる3村合同ビーチクリーンイベント2024」を開催しました。国頭会場は宇佐浜ビーチ、大宜味会場は道の駅おおぎみやんばるの森ビジターセンター、東会場は平良ビーチで同時に行われ、3村合計で241名の方にご参加いただきました。地域住民や村外からの参加者の協力を得ながら、地域の環境保全に努めています。

外来のホタルが確認されています

ヤエヤママドボタル(別名:オオシママドボタル)は、八重山諸島に自然分布する県内最大級のホタルです。人為的に沖縄本島へ持ち込まれ、2003年に八重瀬町で確認され、2024年には名護市でも発見されました。その幼虫が希少種のオキナワヤマタカマイマイ類を捕食することや、本島在来のホタルと競合することも懸念されることから、重点的に防除を実施する必要がある外来種として、県の「重点対策種」に指定されています。

園芸・緑化などの資材等に幼虫が紛れて移動するおそれがあるため、ご注意ください!

～簡単な見分け方～

外来種 ヤエヤママドボタル	在来種 オキナワマドボタル
大きい(成虫オス:2cm以内) (成虫メス:大きなものは4cm) (幼虫オス:~3cm) (幼虫メス:~6.5cm)	小さい(成虫オス:約1cm) (成虫メス:約1.5cm) (幼虫:~2.5cm)
胸は白くふちどられる 足は黒い部分がめだつ	胸は四隅が白い 足が白い



もしもヤエヤママドボタルと思われる昆虫を発見した場合には、「沖縄外来種.com」へ目撃情報をお寄せください。

森林内のパトロールを実施しています

世界自然遺産の森では、環境省、沖縄森林管理署、沖縄県、国頭村、大宜味村など様々な機関によって森林内のパトロールが行われています。

今年度も警察を含めた関係機関とともに合同パトロールを複数回実施しました。夜間の合同パトロールでは密猟者の摘発はありませんでしたが、実際に生き物を持ち出そうとしていた方に声掛けを行い、理解を求めました。



パトロールの様子

「もしかして…密猟？」と思ったら関係機関にご連絡を！

密猟が疑われ怪しいなと思ったら、見かけた場所、時間、状況などをお知らせください。トラブルにつながりますので直接は声をかけずに、名護警察署、環境省やんばる自然保護官事務所もしくはページ下部のお問い合わせ先にご連絡を。

※なかには調査・研究目的できちんと許可をとって捕獲・採取している方もいます。

ロードキルが多発しています。ご注意ください！

2024年度の野生生物交通事故確認件数（2月19日時点）は、ヤンバルクイナ31件、ケナガネズミ36件、ノグチゲラ3件、ホントウアカヒゲ1件となっています。特にケナガネズミの交通事故は、県道2号線および70号線、安波ダム共有道路付近などで幅広く発生しています。

10月～3月頃までケナガネズミの繁殖期をむかえます。



活動が活発になるこの時期は、特に夜間の運転にご注意ください！

道路でヤンバルクイナやケナガネズミを見かけたら

環境省は、道路上の希少動物の出現状況を把握する調査を始めました。その中で、希少動物を見かけた日時や場所などを、スマホから簡単に報告いただけるシステムが構築されています。

みなさまからの目撃情報が、野生生物の交通事故対策に活用されます。みなさまもぜひ右の二次元バーコードより、情報提供のご協力をお願いします。



報告ページ

希少種が身近な存在になっています



ケナガネズミ

国の天然記念物や国内希少野生動植物種に指定されているケナガネズミが昨年、国頭村の民家のねずみ捕りの罠にかかったり、家屋に侵入したという事例が報告されました。あなたの家のそばでも希少な生き物が生活しているかもしれません。家屋に生き物が侵入しないよう、隙間はふさいでおきましょう。



～ケナガネズミの特徴～

- ・毛が長い
- ・大きい(日本最大のネズミ)
- ・しっぽが長くて先が白い

鼻先からしっぽの先まで
45～70cm ぐらい。



お問い合わせ先

沖縄県自然保護課 TEL:098-866-2243

大宜味村企画観光課 TEL:0980-44-3007

国頭村環境保全課 TEL:0980-41-2530

東村企画観光課 TEL:0980-43-2265